



【特集】

技

絵画おき場を居住空間へ一新！

「使い勝手を十分に考えたリフォーム」

●リフォームへの要望

「孫夫婦が帰ってくるから、自宅をリフォームしたい。」今回ご紹介する事例は、孫を思う、そんな愛情からだった。

富山県高岡市在住のYさんは、絵画が趣味。自宅の一階部分を作品の保管場所として活用し、自身は二階で生活していた。ご要望は、一階部分を住むための空間へ変えること。43坪の広さは夫婦と子どもの三人で暮らすには十分な広さだ。「本人たちの好きなようにリフォームするのが一番(Yさん)」と、実際の住まい手になるお孫さんの意見を汲み取りながら工事は進められた。

●リフォーム内容

床、壁、扉など二階部分は大きく変わった。「ここで生活するイメージがもてなかった」と越してくる前のお孫さんだが、



▲玄関 住まい手を癒している。床と壁の色がうまく調和している。

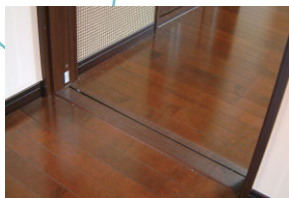
「シックな感じ」に仕上がった。背景には、使い勝手を考えた担当者からの提案があった。

まず、廊下。当初は「暗ければ電気をつければ良い」と、窓を取り付ける話にはなっていなかった。しかし、昼間でも電気が必要なほど暗くなると予想した担当者から、縦長の窓を設置することが提案された。採光が目的で「付けて良かった」と評判だ。

また、何より夫婦を満足させたのは玄関だ。以前はマンションでの生活で、玄関はモノを置けるほど広くはなかった。「乳母車を避けながら奥へと入っていった」とのこと。それが知らず知らずのうちストレスになっていた。広くなった玄関は「仕事から帰ってくる爽快感です。帰宅後、モノを避けながら入ることのストレスがなくなりました。」と住まい手を癒している。

そして、リビングの電気スイッチは動線を考慮して置かれ、リビングに入る際の扉は、「押して入る」から「引いて入る」ように付け替えられた。これにより電気スイッチが扉の影にかくれ不便に思うことがなくなる。細かな所まで担当者が気配りしたあとが伺える。「使い勝手は経験しなければ分かりません。また、お客様は一般的に建物のことはあまりご存知ではありません。建

バリアフリー



段差のないバリアフリー設計。

浴室



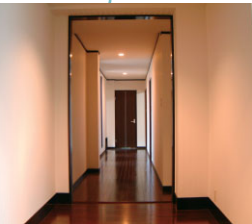
お気に入りのTV。DVDの視聴もできる。

書斎



一見空間をさぎざっているのように見えるが、右側の扉が玄関と階段につながる。部屋をつないだことで、人の行き交いが増え、今後活かした空間になると期待できる。

廊下

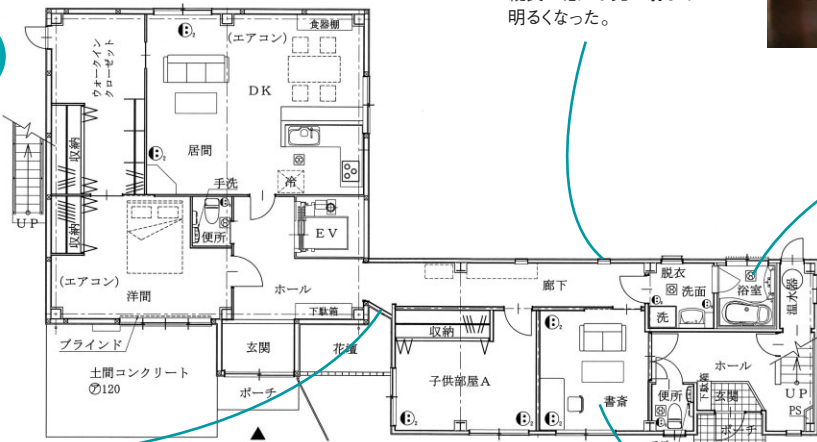


縦長の窓から光が射して明るくなった。

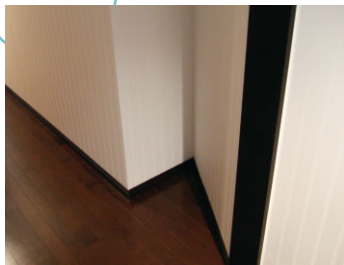
Before



After



デッドスペース



花を生ける場所として活用できる。このような規格にはまっていない柔軟な発想による空間が心を癒す。

築のプロとしてお客様のニーズを先々のことを考えて提案し、お客様が満足できる建物にしたいと思っております。(担当者「技ネット」)

今月のオーナー訪問



富山県高岡市 Yさん

「いい家になりました。」

とても良い仕上がりになりました。最初は住めるようになるか少し心配でしたが、コンセントは丁度良い位置にありますし、前に住んでいたマンションに比べると動きやすくて、何より全体的に明るくなりました。一番のお気に入りはお風呂です。休日には半身浴を楽しんでいます。

わがままは何度も言いましたが、それでも私たちの使い勝手を考えて根気良くアドバイスをしてくれて、ありがたうございました。お陰で使い勝手の良い素敵な家になりました。次もよろしく願いますよ！



技のリフォーム

0120-183-304

イワサ ミセマス